

NEWS RELEASE**ヨコオが群馬労働局長表彰「優良賞」を初受賞**

3日(金)に行われた表彰式の様子、(左:環境・安全課 御堂 裕介、右:執行役員常務 赤尾 剛)

株式会社ヨコオ(本社:東京都千代田区、社長:柳澤勝平)は、このたび、令和8年度群馬産業安全衛生大会において、群馬労働局長表彰の「優良賞」を受賞し、7月3日(金)に群馬県 JA ビル(群馬県前橋市)で表彰式が行われましたのでお知らせします。

■ 群馬労働局長表彰について

群馬労働局では、職場の自律的な労働災害防止活動の推進と安全衛生意識の高揚を目的に、毎年7月1日から7日まで「全国安全週間」を実施しています。その行事の一環として安全衛生管理水準の優れた事業場や団体などに対する表彰を行っています。

今回ヨコオは、地域の中で、安全衛生に関する水準が特に良好で他の模範であると認められる事業場として「優良賞」を初めて受賞。群馬労働局長表彰としては、令和元年度に受賞した「奨励賞」に続いて2回目の受賞となります。

■ 受賞理由

本表彰は、ヨコオがこれまで安全衛生水準の向上に向けて取り組んできた、リスクアセスメントを軸とした安全管理や、従業員の安全意識向上を目的とした教育や講習などの取り組みが、総合的に評価されたものと受け止めています。

■ ヨコオの取り組み

ヨコオでは、機械設備や化学物質を使用していることから、労働災害や健康のリスクを認識し、KYT(危険予知トレーニング)やヒヤリ・ハットの実施、リスクアセスメントを軸とした安全管理を実施しています。ま

た、労働災害の撲滅に向けた取り組みとしては、安全衛生委員会の定期開催や、e-ラーニングによる安全衛生教育に加え、富岡工場では労働災害を疑似体験できる「安全道場」を設置し、従業員の安全意識の向上を図っています。

さらに、従業員の健康維持・増進に向けた取り組みとして、健康管理センターの設置や、産業医・保健師による支援体制の整備、インフルエンザワクチン接種の推進などを実施しており、これらの取り組みが総合的に評価されたものと受け止めています。

今後も、ヨコオは誰もが安心・安全に働ける職場環境の実現に向け、安全と健康を守るための取り組みを継続し、労働災害のない職場づくりを推進していきます。

<参考資料>

■ 安全衛生の取り組みの一例

- ・ リスクアセスメントを軸に全職場で危険源を把握・低減
- ・ 労災・事故情報を全社で共有し、再発防止を徹底
- ・ 教育・安全道場などで安全意識を向上
- ・ 巡視・見える化で現場の安全を継続改善
- ・ 交通安全・避難訓練など実践的な安全対策を強化
- ・ ISO や委員会体制による組織的な安全管理を推進
- ・ 健康・働き方も含めた総合的な安全衛生施策

安全道場

社内で発生する可能性のある労働災害事象を疑似体感できる設備を導入した「安全道場」により、「危険・災害のない職場」「ゼロ災害」の実現を目指しています。新入社員および中途社員の研修において体験プログラムを実施し、安全に対する意識の向上を図っています。



富岡工場に常設されている「安全道場」



「安全道場」内に設置している挟まれ・巻込まれ体感設備



(注) ニュースリリースに記載されている内容は報道発表日時点の情報です。その後、予告なしに変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。

◇ 本件に関するお問い合わせ先
株式会社ヨコオ 広報部 小此木
携帯：090-4603-0450
E-mail: r-okonogi@jp.yokowo.com